



ファイナルレポート

第 17 回 国際電子部品・アセンブリ・マテリアル専門見本市
 第 17 回 国際電子部品製造技術専門見本市
 インド・バンガロール / バンガロール国際展示場
 2016 年 9 月 21 日～23 日

2016 年 9 月 27 日

electronica India、productronica India バンガロールにて新記録を達成
 来場者数、出展社数、展示面積を増やす

Summary

- 前回のバンガロール開催時より来場者 17%増
- エレクトロニクス界最多となる参加者数は、業界のプラス成長を反映
- 強力な併催会議が来場者に付加価値を提供



Facts & Data

会 期	2016 年 9 月 21 日(水)～23 日(金) 午前 10 時～午後 6 時
会 場	インド・バンガロール国際展示会場 Bangalore International Exhibition Centre
主 催	Messe München - メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen India Pvt. Ltd. - メッセ・ミュンヘン・インド
出 展 企 業	425 社(2015 年:353 社)
来 場 者 総 数	17,968 人(2015 年: 15,435 人)
主 な 出 展 品	<electronica India> : 半導体、センサー、リレー・スイッチ・配線技術、受動部品、モーター・駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、ED/EDA、検査・測定技術、ディスプレイ、電源装置 <productronica India> : 電子部品製造、一般業務支援・製造サブシステム、PCB 及びその他電気回路用製造装置及びロジスティック、ケーブル加工技術アセンブリ・モジュール・ハイブリッド用製造装置及びロジスティック、材料加工、パッケージング、製造関連サービス、はんだ付け技術
出展日系企業 (現地法人・ 代理店出展含)	稲畑産業(株)、オリンパス(株)、協立電機(株)、黒田電気(株)、JUKI(株)、タツタ電線(株)、トーヨーケム(株)、(株)ニコン、ニチコン(株)、パナソニック(株)、パナソニックファクトリーソリューションズ(株)、ヒロセ電機(株)、(株)村田製作所、ヤマウチ(株) 他
専 用 U R L	www.electronic-india.com / www.productronica-india.com

9月21日から23日にかけて、インド・バンガロール国際展示会場にて開催された electronica India と productronica India は 17,968 人の来場者と 425 社の出展社を集め、新記録を達成した。650 社を超える企業が代表として革新的製品、ソリューション、技術を紹介した。参加者は、見本市が提供するテクノロジーや同時開催のプログラム、そして、来場者数、出展社数、占有面積という重要な項目すべてにおいて記録を更新した見本市の成長に非常に満足していた。

メッセ・ミュンヘン・インド代表のブピンダー・シンは、「2016 年は出展社と来場者からの圧倒的なフィードバックを得た、最も成功した年になった。メッセ・ミュンヘン・インドでは、業界のステークホルダーたちと密接に連携し、顧客の優先事項を踏まえたプロフェッショナルな見本市を提供している」と話した。



「あらゆる業界関係者を同じ場所に集める productronica India は、業界にとって重要な存在だと感じている。当社はこの見本市の創設以来ずっと付き合ってきているが、そのことが見本市の質の良さを物語っている」。そう話すのは、Trans Technology India 社のクリス・キンブル氏だ。

見本市の主な見所の一つは、インド電子産業協会 (ELCINA) と共催で開かれた、「インドへの投資」トピックに焦点を置いた CEO フォーラムだ。2016 年 9 月 21 日に初開催された同プログラムは、インドで新たなビジネスチャンスを探す代表者たちを引き合わせた。チャッティースガル州、ハリヤーナー州、ジャールカンド州、オリッサ州、ラージャスターン州を含む約 5 つのインドの州が CEO フォーラムに参加し、国内外の電子機器製造企業のための有利な投資機会について議論した。企業対行政間取引 (B2G) フォーラムの一環として、州の代表者たちは見込み投資家たちとの対面会議を行った。

インド中からの最高意思決定者が、学びの機会、人脈作りの機会を提供するこの強力な会議に参加した。

以下のプログラムは、全て好評だった。

- ・『EmbedAsia』: 組込みシステムの「自動車と航空電子機器」応用と技術に重点を置いた国際会議
- ・「IoT を実現する人工知能」に重点を置いた、『IoT 会議』
- ・「インドで PCB を作る—電子機器製造における根幹の強化」に重点を置いた、ELCINA と共催の『インド PCB テック』

IPC インドによって行われた、IPC インド技術会議、IPC インドプロフェッショナル開発ワークショップ、IPC 手はんだ付けコンテストなどの重要なプログラムは、多くの参加者を集めた。

「バイヤーとして、当社は常に業界の新技术や新たな供給業者に出会いたいと願っている。当社は、幅広い製品やソリューションを開拓できたので、参加の目的を達成することができた」。そう話すのは、Panasonic Automotive India 社、代表兼調達担当のプラシャント・シン氏だ。

バイヤー・セラーフォーラムなどの人脈作りのプログラムは、大きな関心を集め、多くの人が参加したと報告されている。ここでは、最高意思決定者と出展社による 1,000 以上の対面会議が行われた。数ある中でも、MINDA 社、AmaraRaja Electronics 社、Bosch 社、LAVA International 社、L&T Heavy Engineering 社などの、自動車、家庭用電化製品、通信などの応用分野を代表する多くの企業が参加した。

「当社が求めていた、重要なバイヤーが集まるバイヤー・セラーフォーラムに参加した。electronica India への参加は全体的に有意義なものだった。業界をリードする見本市として、electronica India は大規模な顧客基盤を呼び集めてくれる」と、Bosch Automotive India 社 Rajesh R Pranesh 氏は話した。



ブピンダー・シンは、「electronica India、productronica India は素晴らしい結果を残しただけでなく、出展社と来場者を非常に満足させることができた。参加者数の増加は、エレクトロニクス業界の前向きな見通しを反映している。私たちは、この勢いが今後も続くことを確信している」と締め括った。

次回の electronica India、productronica India は 2017 年 9 月 14 日から 16 日にかけて、インド・ニューデリーのプラガティ・マイダンにて開催される。また、相乗効果と参加者への付加価値提供をめざし、LASER World of PHOTONICS INDIA と同時開催となる。

見本市の詳細情報並びに写真は、専用ホームページをご参照ください：

electronica India : <http://electronica-india.com>

productronica India : <http://productronica-india.com>

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)